

TY's Terminal + Application

User Manual

Rev. 1.1 2020/05/11

Table of Contents

| | | |
|-----|---|---|
| 1 | Introduction | 3 |
| 2 | Application | 3 |
| 2.1 | Application Start | 3 |
| 2.2 | Devices Screen | 4 |
| 2.3 | Terminal Screen | 5 |
| 2.4 | Beacons Screen | 8 |
| | Figure 1: Application Icon | 3 |
| | Figure 2: Enable Bluetooth | 4 |
| | Figure 3: WLAN Settings..... | 5 |
| | Figure 4: Bluetooth Settings | 6 |
| | Figure 5: HTerm connected to the TYSAB device | 7 |
| | Figure 6: Disconnected from device | 8 |
| | Figure 7: Beacon icons | 9 |
| | Figure 8: Beacon screen on iPhone..... | 9 |

1 Introduction

TY's Terminal アプリケーションは Android、iOS に対応しております。どちらも同様の画面構成になっているため本マニュアルでは、iOS の画面を使用して説明します。アプリケーションは iOS では App Store から、Android では Google Play からダウンロードが可能です。スクリーンショットは、iOS バージョン 10.2 の iPhone 5 と iOS バージョン 12.1.4 の iPad Pro を使用して撮影したものです。現在のアプリケーションは、iOS バージョン 10 から現在の最新バージョン (13) まで Android では Android 5.0 以上をサポートしています。

2 Application

2.1 Application Start



Figure 1: Application Icon

アプリケーションがデバイスにインストールされると、図 1 に示すアイコンがデバイスのホームメニューに表示されます。アプリケーションは、適切な Bluetooth ハードウェアが動作するデバイスと iOS バージョン 10~13 をサポートします。デバイスで Bluetooth が無効になっている場合は、アプリケーションの起動時にポップアップメッセージで設定ページから Bluetooth を有効にするように求められます。

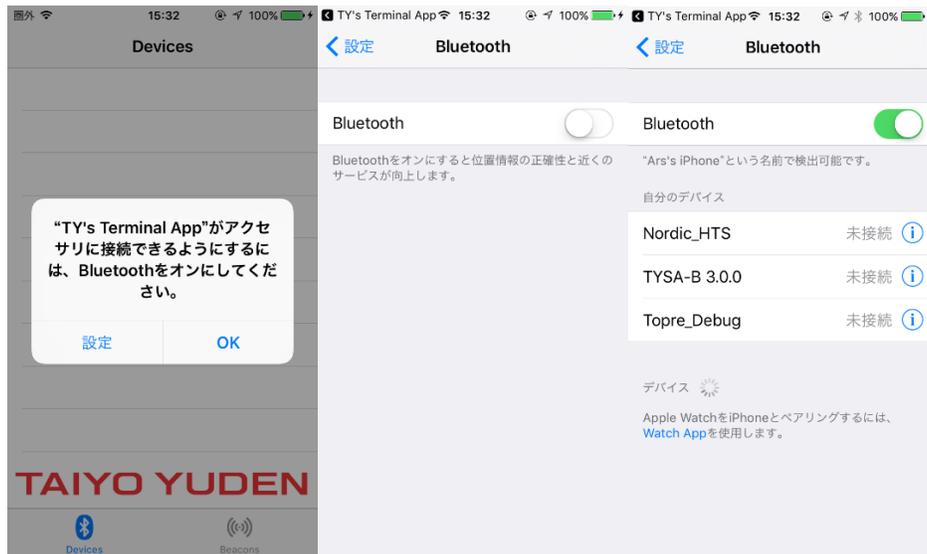


Figure 2: Enable Bluetooth

2.2 Devices Screen

デバイス画面には、iOS デバイスの範囲内にあるすべての接続可能な Bluetooth デバイスが表示されます。Bluetooth デバイスの RSSI は、新しいアドバタイズパケットを受信するたびに更新され、RSSI 値が更新を停止した場合はデバイスに到達できないかアドバタイズを停止した可能性があります。アプリケーションは TYSAB ターミナル互換ファームウェアを持つデバイスにのみ接続し、互換ファームウェアを持たないデバイスは動作しません。

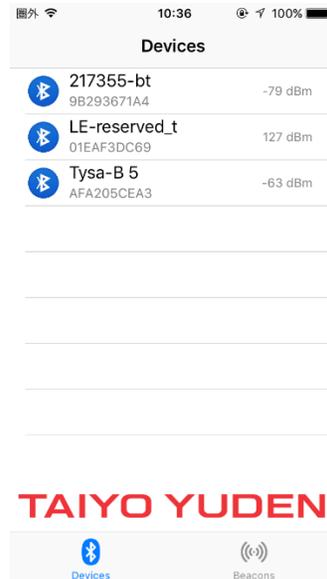


Figure 3: WLAN Settings

2.3 Terminal Screen

正しい TYSAB ターミナルデバイスに接続されると、アプリケーションはターミナル画面を表示します。

ターミナル画面では、アプリケーションはターミナルソフトウェアとして機能し、デバイスとの間でさまざまなデータを送受信します。また、ナビゲーションバーの下にはさまざまなターミナル設定があります。デバイスに送信されたデータは太字で表示され、受信したデータは太字では表示されません。

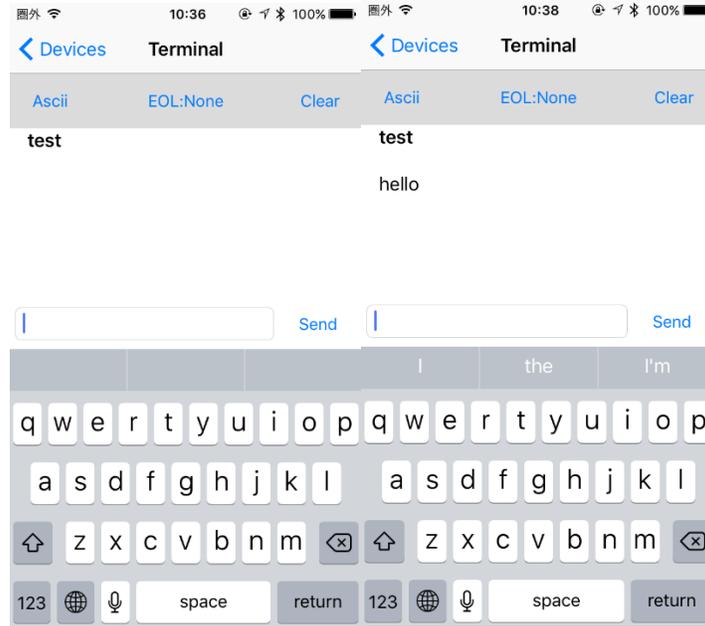


Figure 4: Bluetooth Settings

“Realterm”や“HTerm”といった TYSAB ターミナルデバイスが接続されている PC の外部ターミナルソフトウェアを使用することにより、ユーザーはモバイルデバイスから送信されたパケットを送受信できます。

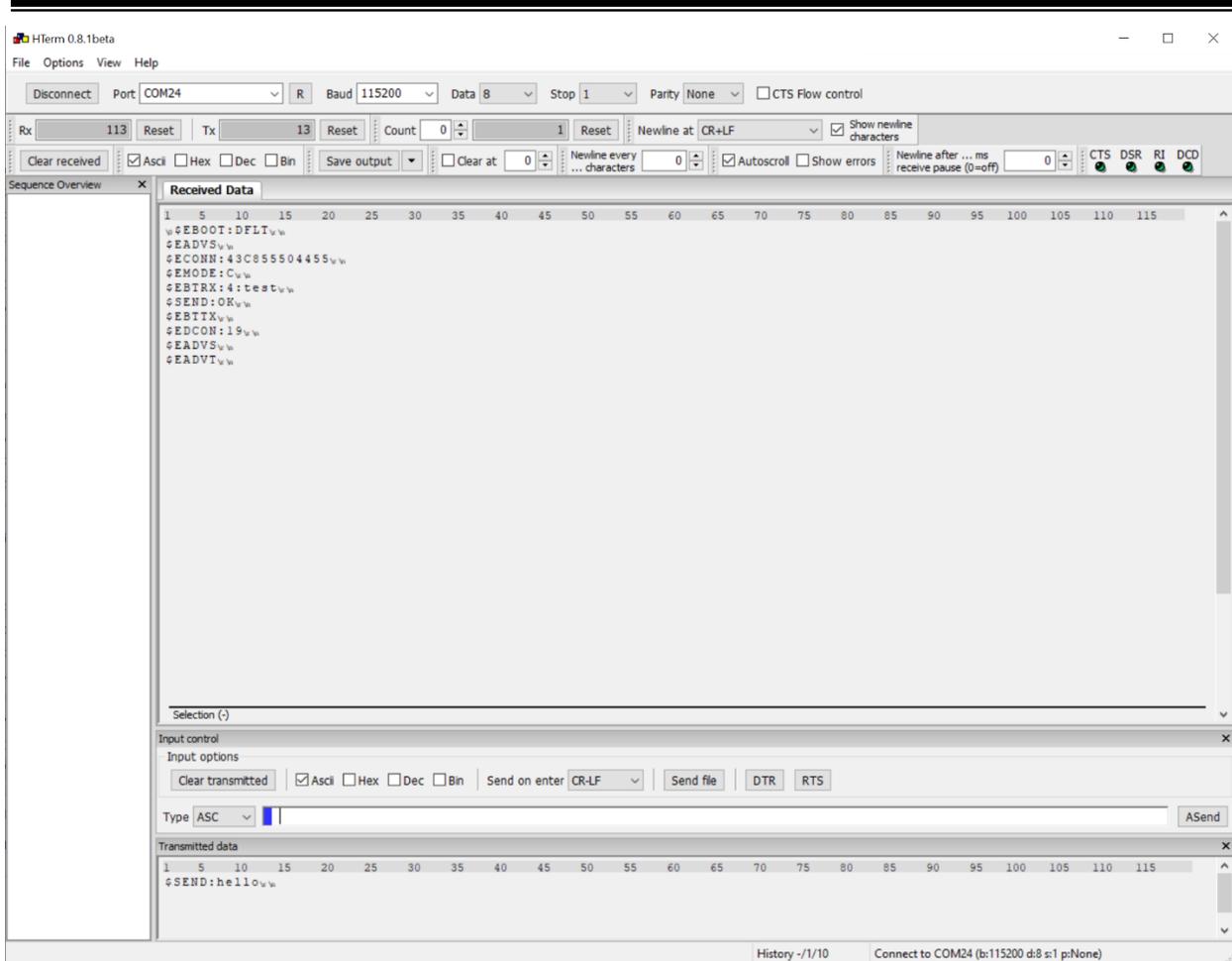


Figure 5: HTerm connected to the TYSAB device

ターミナル画面の戻るボタンを押すと、アプリケーションはデバイス画面に戻り、接続されているデバイスから切断され、ポップアップメッセージが切断成功を示します。

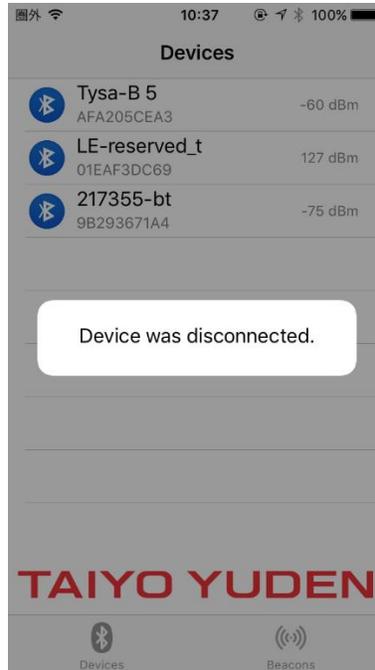


Figure 6: Disconnected from device

2.4 Beacons Screen

ビーコン画面には、モバイルデバイスの範囲内の正しいフォーマットでビーコン（接続不可能）を出力しているすべてのデバイスが表示されます。正しいビーコン形式は太陽誘電の soliot ビーコン形式で、他のビーコンは除外され、ビーコン画面には表示されません。すべてのビーコンは、最新の受信ビーコンデータを示すテーブルセルを作成します。図7は、テーブルセルのレイアウトと各アイコンの意味を示しています。図8は実際のデータを含むビーコン画面を示しています。一番上の太字のテキストはスキャン応答データで送信されるデバイスの名前、右上の番号はビーコンによって送信されるシーケンス番号、右下はビーコンの現在のRSSIです。

-  Time when beacon was received
-  Temperature data in °C from sensor or dummy data
-  Humidity dummy data since no sensor available
-  Light data in Lux from sensor or dummy data
-  Air Pressure dummy data since no sensor available
-  Sound dummy data since no sensor available
-  Accelerometer X data in G's from sensor or dummy data
-  Accelerometer Y data in G's from sensor or dummy data
-  Accelerometer Z data in G's from sensor or dummy data
-  Electricity dummy data since no sensor available
-  TX Power dummy data since no sensor available
-  CO2 dummy data since no sensor available

Figure 7: Beacon icons

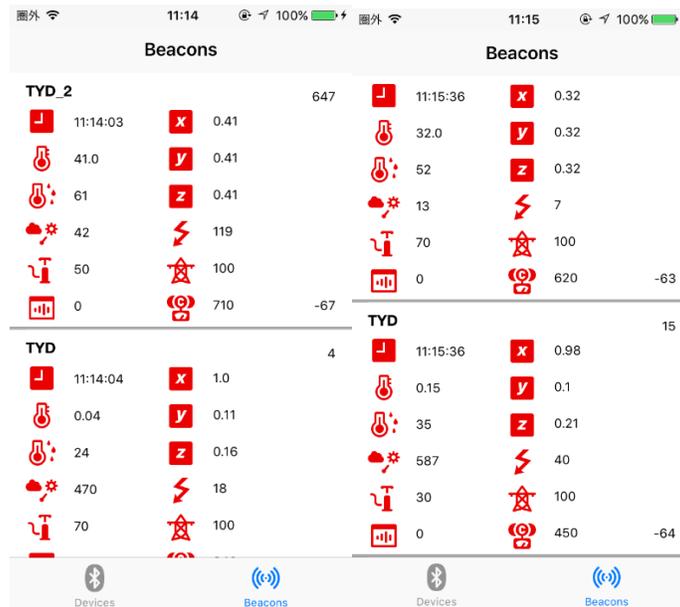


Figure 8: Beacon screen on iPhone

本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。本文中ではTM、(R)マーク等は明記していません。

※Apple、Apple ロゴ、Safari は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

※iPad、iPhone は Apple inc.の登録商標です。

※iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

※iOS 商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています

※App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。

※Google 、 Android 、 Google Chrome、 Google Play は、Google LLC. の商標です。